

障害者差別解消法の施行に伴う社会的障壁の除去のための取組

資料2-3

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和３年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和４年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和３年度決算見込額 （単位：千円）	令和４年度予算額 （単位：千円）
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。			
1	企画総務局	広報課	記者会見ライブ中継の実施	情報保障	市長記者会見ライブ中継において、手話通訳を実施し、記者会見後に配信する動画へ字幕を挿入した。		市長記者会見ライブ中継において、手話通訳を実施し、記者会見後に配信する動画へ字幕を挿入する。	通年	3815	3872
2	企画総務局	広報課	テレビ広報番組放送	情報保障	テレビ広報番組（カープ家のひろしま生活、野々村真の広島！魅力発見）において、聴覚障害者向けに手話通訳・字幕（クローズドキャプション及び要約字幕）を導入した。		テレビ広報番組（カープ家のひろしま生活＋、元就。二百万一心！）において、聴覚障害者向けに手話通訳・字幕（クローズドキャプション及び要約字幕）を導入する。	通年	6325	6325
3	企画総務局	広報課	視覚障害者用声の広報	情報保障	広報紙「ひろしま市民と市政」の発行に伴い、点字を読むことができない視覚障害者向けに「声の広報」（カセット、デジジー（CD））を作成・配布した。	声の広報、点字広報は委託で製作配布しているが、１日号のうち２面は各区版となっており、その部分については各区のボランティア団体が声の広報、点字広報を別途作成し、希望者に配布している。昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響でボランティア団体が活動を自粛したため、6月1日号から11月1日号、2月1日号、3月1日号は、代替措置として全市版を追加発注し該当者へ配布した。	広報紙「ひろしま市民と市政」の発行に伴い、点字を読むことができない視覚障害者向けに「声の広報」（カセット、デジジー（CD））を作成・配布する。	通年	5380	5106
4	企画総務局	広報課	点字広報紙発行	情報保障	広報紙「ひろしま市民と市政」の発行に伴い、視覚障害者向けに「点字広報紙」を作成・配布した。	声の広報、点字広報を別途作成し、希望者に配布している。昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響でボランティア団体が活動を自粛したため、6月1日号から11月1日号、2月1日号、3月1日号は、代替措置として全市版を追加発注し該当者へ配布した。	広報紙「ひろしま市民と市政」の発行に伴い、視覚障害者向けに「点字広報紙」を作成・配布する。	通年	5628	6348
5	企画総務局	広報課	ホームページ管理運営	情報保障	ホームページにおいてＰＤＦファイルによる提供に留まっているコンテンツについては、音声読上げソフトや自動翻訳ソフトに対応しないため、これらコンテンツのＰＤＦファイルをＨＴＭＬ化した。	予算内での対応となるため、対象となるＰＤＦファイルを選定しないといけないが、どのような資料が実際に視覚障害の方にとって重要な情報かの選別が難しい。	ホームページにおいてＰＤＦファイルによる提供に留まっているコンテンツについては、音声読上げソフトや自動翻訳ソフトに対応しないため、これらコンテンツのＰＤＦファイルをＨＴＭＬ化する。	通年	977	1012
6	企画総務局	研修センター	職員研修 （障害を有する研修生等に対する合理的配慮）	情報保障	対象者がいた場合は、手話通訳者・要約筆記者を派遣した。	研修講師においても適切な配慮が行われるよう、関係者間で、綿密に意思疎通を図るなどして、より一層適切な研修の実施を目指していく。	対象者がいる場合は、手話通訳者・要約筆記者を派遣する。	4月～１１月	23	450
7	企画総務局	研修センター		その他	【基本研修】 研修案内に配慮の必要性等の事前連絡に係る案内をし、当該連絡があったものについて、適切に対応した。 【特別研修】 申込書に配慮の必要性等の記載があったものについて、適切に対応した。	研修講師においても適切な配慮が行われるよう、関係者間で、綿密に意思疎通を図るなどして、より一層適切な研修の実施を目指していく。	【基本研修】 研修案内に配慮の必要性等の事前連絡に係る案内をし、当該連絡があったものについて、適切に対応する。 【特別研修】 申込書に配慮の必要性等の記載があったものについて、適切に対応する。	随時	0	0
8	企画総務局	研修センター	職員研修 （障害者差別解消に関する研修の実施）	環境の整備	障害者への合理的な配慮の事例や対応方法等について研修を実施した。	特になし。	障害者への合理的な配慮の事例や対応方法等について研修を実施する。	4月～９月	0	0
9	企画総務局	研修センター		環境の整備	新規採用職員研修(後期)において、市職員として必要な福祉に関する基本的な知識や技能などを会得するため、要約筆記や車椅子体験などを行った。	特になし。	新規採用職員研修(後期)において、市職員として必要な福祉に関する基本的な知識や技能などを会得するため、要約筆記や車椅子体験などを行う。	8月～９月	234	279
10	企画総務局	研修センター		環境の整備	隔年ごとに「手話・要約筆記能力養成講座」を実施した。	特になし。	手話・要約筆記の技法を学び、聴覚障害者とのコミュニケーション能力を養成することを目的として、「手話・要約筆記能力養成講座」を実施する。 （対象者：一般職員～課長級職員、定員：２４名）	未定 ※令和５年度に実施予定	232	0
11	企画総務局	研修センター	研修センターの福祉環境整備事業	環境の整備	予算の枠内で可能な限り、広島市公共福祉環境整備要綱を基にバリアフリー化に努めた。	構造上の問題で整備が不可能な項目や既存予算の枠内では実施できない項目がある。	広島市公共福祉環境整備要綱を基に、引き続き、優先順位を考慮しながら計画的にバリアフリー化に努める。	通年	362	1400 （修繕料）
12	市民局	市民活動推進課	平和記念式典	環境の整備	平和記念式典参列者席に車椅子席を設けた。	—	平和記念式典参列者席に車椅子席を設ける。	令和4年8月6日	椅子席設営業務に 溶け込んでいるため 算出不可	椅子席設営業務に 溶け込んでいるため 算出不可
13	市民局	市民活動推進課	平和記念式典	情報保障	平和記念式典障害者席に手話通訳者を配置し、同時通訳を行った。	—	平和記念式典障害者席に手話通訳者を配置し、同時通訳を行う。また、文字情報が必要な方には、あいさつ文等を文字起こしした用紙を配布する予定。	令和4年8月6日	13	66

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和３年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和４年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和３年度決算見込額 （単位：千円）	令和４年度予算額 （単位：千円）
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。			
14	市民局	市民活動推進課	集会所福祉環境整備	環境の整備	障害者差別解消法の施行に伴い、平成２８年度から令和７年度までの１０年間を市公共建築物のバリアフリー化の集中実施期間とし、集会所については、これまで腰掛式便器や便所手すりの設置を主に整備してきたことから、他に整備すべき項目を整理し、それを踏まえた計画を策定し、バリアフリー化を行っている。	—	市が設置した集会所について、便所改修等のバリアフリー化を実施する。	令和4年度	9,539	6,000
15	市民局	市民活動推進課	町内会の振興	情報保障	町内会・自治会加入促進チラシを36,000部増刷し、市民課等で配布した。	—	町内会・自治会加入促進チラシに音声コードを貼付し、転入者及び転居者に配布した。	通年	84	244
16	市民局	生涯学習課	広島市立図書館・閲覧室の管理運営	情報保障	広島市立図書館全館・室に助聴器、拡大読書器、リーディングトラッカー（読書補助器）、コミュニケーションボードを配備した。	—	今後に必要な福祉用具を検討する。	随時	年度を超えて配備したため、算出不可	—
17	市民局	生涯学習課	広島市立図書館・閲覧室の管理運営	情報保障	行事における手話通訳・要約筆記を必要に応じて配備。令和３年度は必要な方がいなかったため、実績なし。	—	行事における手話通訳・要約筆記を必要に応じて配備する。	通年	0	384
18	市民局	生涯学習課	公民館の福祉環境整備	環境の整備	障害者差別解消法の施行に伴い、平成２８年度から令和７年度の１０年間を市公共建築物のバリアフリー化の集中実施期間とし、公民館については毎年２館ずつエレベーター設置工事を実施している（令和３年度の工事予定箇所については、入札不調により令和３～４年度にかけて実施中）。	エレベーター設置工事が完了する令和４年度以降、広島市公共施設福祉環境整備要綱に適合していない項目について、計画的に対応する必要がある。	エレベーター未設置の公民館について、計画的に整備を行う。 令和４年度 エレベーター設置工事４館（五日市中央、観音台、鈴が峰、東野） ※五日市中央、観音台は令和３年度からの繰越	通年	70,120	124,187
19	市民局	生涯学習課	公民館の施設整備	環境の整備	査定により後年度送り	—	二葉公民館（東区地域福祉センターと合築）における、駐車場カーポート整備工事。 令和４年度　実施設計	通年	査定により後年度送り	420
20	市民局	市民安全推進課	「減らそう犯罪」区民大会の開催	情報保障	市民の防犯意識の高揚を図るため「減らそう犯罪」区民大会を開催し、手話通訳者・要約筆記者を配置しているが、令和３年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、同大会を中止した区もあった。	市民の犯罪意識の高揚を図るため、各区において同大会を開催する予定であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となる可能性がある。	市民の防犯意識の高揚を図るため「減らそう犯罪」区民大会を開催し、手話通訳者・要約筆記者を配置する。	各区年１回	79	272
21	市民局	（公財）広島平和文化センター国際市民交流課	国際フェスタの開催	情報保障	令和３年１１月１９日（土）・２０日（日）に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和２年同様規模を縮小して開催した。２０日に開催した講演会及び姉妹・友好都市紹介の２会場において手話通訳を実施した。	手話通訳の実施をこれまで行ってきた講演会や姉妹・友好都市紹介以外にも拡大していくべきか検討を要する。また、次回開催にあたっては新型コロナウイルス感染症拡大による集客への影響が懸念される。	主に広島市内で国際交流・協力活動を行っている団体が一堂に会して、多くの人が楽しめる参加型事業を行い、在住外国人を含む参加市民に、国際交流・協力活動に親しみ、関心を高めてもらうとともに、広島市の都市像である国際平和文化都市の実現に資することを目的とし、令和４年度もイベントを開催予定である。参加は無料で、手話通訳を実施する。	年１回	39	14
22	市民局	（公財）広島平和文化センター国際市民交流課	「姉妹・友好都市の日」の開催及び「ヒロシマ・メッセンジャー」の運営	情報保障	ロシアのボルゴグラード市は広島市の姉妹・友好都市（６都市）の一つであり、ボルゴグラード市の生誕記念日である９月第２日曜日を「ボルゴグラードの日」とし、市民参加型のイベントを毎年度開催してきた。令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止し、令和３年度は開催時期をずらして国際フェスタの一事業として、令和３年１１月２０日（日）に「ボルゴグラードの日」特別企画を開催し、手話通訳を実施した。その他の５都市については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。	次回開催にあたっては新型コロナウイルス感染症拡大による集客への影響が懸念される。	広島市の各姉妹・友好都市（６都市）の記念イベントを開催し、各都市に対する広島市民の理解を深め、両市の一層の交流促進に寄与することを目的とし、令和４年度もイベントの開催を検討している。参加は無料で、手話通訳を実施する。	年に各１回 （合計６回）	18	359 （イベント開催経費負担金合計）
23	市民局	平和推進課	被爆体験伝承者の養成	情報保障	受講生に手話通訳の必要な方がいなかったため、実施せず。	—	被爆者の被爆体験や平和への思いを受け継ぎ、それを伝える被爆体験伝承者を平成24年度から養成している。 聴覚に障害がある応募者から、被爆体験伝承者養成研修の際の要約筆記者または手話通訳者の配置希望があったので、手話通訳者を配置する。	通年	0	187 （手話通訳・要約筆記にかかる予算額）
24	市民局	平和推進課	平和文化セミナーの開催 （核兵器禁止条約に関するシンポジウムの開催）	情報保障	令和３年５月３０日（日）に平和文化セミナー「わかるとかわる！核兵器禁止条約」を開催し、手話通訳者を配置した。	—	—	—	26	—
25	市民局	平和推進課	平和宣言の発信	情報保障	平和宣言の内容を発信するため、平和宣言の点字版を作成し、点字図書館等へ配付した。	—	平和宣言の内容を発信するため、平和宣言の点字版を作成し、点字図書館等へ配付する。	令和4年8月	24	24
26	市民局	（公財）広島平和文化センター平和記念資料館学芸課	管理運営	情報保障	平和記念資料館のリーフレット点字版を作成し、視覚障害のある来館者に対して配布した。	—	視覚障害のある来館者に対し、平和記念資料館のリーフレット点字版を配布する。	随時	0	0

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和３年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和４年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和３年度決算見込額 （単位：千円）	令和４年度予算額 （単位：千円）
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。			
27	市民局	（公財）広島平和文化センター 平和記念資料館 学芸課	管理運営	情報保障	視覚障害のある来館者に対し、実際に資料に触れる体験を行った。	—	視覚障害のある来館者に対し、希望があれば、実際に資料に触れる機会を設ける。	随時	0	0
28	市民局	（公財）広島平和文化センター 平和市民連帯課	ひろしま子ども平和の集い	情報保障	平和記念式典参列等のために広島を訪れる子どもたちと広島在住の子どもたちが平和のメッセージを発信する「ひろしま子ども平和の集い」において、手話通訳・要約筆記者を配置する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となったため、取組なし。	—	平和記念式典参列等のために広島を訪れる子どもたちと広島在住の子どもたちが平和のメッセージを発信する「ひろしま子ども平和の集い」において、手話通訳・要約筆記者を配置する。	令和4年8月	0	63
29	市民局	（公財）広島平和文化センター 平和市民連帯課	国際平和シンポジウムの開催	情報保障	市民の平和意識の高揚と国内外への平和メッセージの発信を目的として開催した「国際平和シンポジウム2021」において、手話通訳を配置した。	—	市民の平和意識の高揚と国内外への平和メッセージの発信を目的とした「国際平和シンポジウム」を広島市と長崎市で交互に開催しているが、令和4年度は長崎市で開催されるため、取組なし。	—	42	0
30	市民局	（公財）広島平和文化センター 平和市民連帯課	平和文化の振興	情報保障	「平和文化」の振興を図ることを目的として毎年１１月に開催する「平和文化月間」の平和文化講演会において、手話通訳を配置した。	—	「平和文化」の振興を図ることを目的として毎年１１月に開催する「平和文化月間」の平和文化講演会において、手話通訳を配置する。	令和4年10月	13	規定予算内で対応
31	市民局	（公財）広島平和文化センター 平和首長会議運営課	第10回平和首長会議総会の開催	情報保障	令和３年８月３日(火)～６日(金)に開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により、令和４年１０月に延期	—	平和首長会議の加盟都市が集う総会を本市で開催し、核兵器のない平和な未来の創造に向け、加盟都市が今後の取組について議論するとともに、平和首長会議設立40周年を記念する行事を行う。市民等も傍聴できるようにするため、手話通訳者を配置する。	令和4年10月	0	50 （手話通訳に係る予算額）
32	市民局	（公財）広島平和文化センター 平和首長会議運営課	平和首長会議の活動展開 （「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動の展開）	情報保障	視覚障害者向けに点字の署名用紙を作成し、市役所や各区役所等の署名コーナーに配布した。	—	平成２２年から核兵器禁止条約の実現を目指した署名活動を高校生等の協力も得て行っており、視覚障害者向けに、点字の署名用紙を作成している。	通年	0 （令和2年度作成したものを使用）	0 （令和2年度作成したものを使用）
33	市民局	（公財）広島平和文化センター 平和記念資料館 啓発課	被爆体験講話の臨時開催	情報保障	８月６日前後の夏休み期間に実施。手話通訳、要約筆記の体制は必要に応じて配備。 ※２年度は新型コロナウイルスの影響により、臨時開催の実施を見送った。３年度はオンラインでの開催。	—	来館者が多く見込まれる８月６日前後の夏休み期間に、個人、団体問わず講話を実施。予約不要、無料。手話通訳、要約筆記の体制は必要に応じて配備。	令和4年8月	8,544	7,955
34	市民局	（公財）広島平和文化センター 平和記念資料館 啓発課	被爆体験伝承講話の定時開催	情報保障	毎日２回定時に実施。手話通訳、要約筆記の体制は必要に応じて配備。 ※新型コロナウイルスの影響により、１０月から臨時的に一日２回で再開。	—	来館者を対象に、毎日３回定時に講話を実施。予約不要、無料。手話通訳、要約筆記の体制は必要に応じて配備。	通年	5,165	5,543
35	市民局	国際化推進課	広島国際会議場施設整備 （普建・単独）	環境の整備	令和２年度に広島国際会議場地下２階多目的トイレを改修し、オストメイト設置等を行う工事を着工したが、工期が延長し、令和３年５月に完了した。	—	令和３年５月に工事が完了したため、特になし。	—	5,743	0
36	市民局	人権啓発課	人権啓発事業	情報保障	上村崇氏（福山平成大学福祉健康学部教授）の市民向け講座「インターネットを利用した人権侵害」～加害者にならないために～を令和４年３月３日（木）に予定していた。しかし、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、会場での講演を中止し、YouTubeで後日配信のみの実施とした。申込者に動画のアドレスを送信して視聴していただいた。	契約上、要約筆記の内容をYouTubeのテロップに転用することができなかった。そのため、講師映像、手話映像、要約筆記と画面を３分割しての配信となった。	市民向け、企業向けと隔年での実施を予定しているため令和４年度は企業向けを実施予定。会場実施形式と動画配信形式を両方を準備し、動画配信においては、より視聴しやすい配信や編集の方法を検討する。	令和５年 １月～２月	50	57
37	市民局	人権啓発課	人権啓発事業	情報保障	人権啓発パンフレットに音声コード（Uni-Voice）貼付け	パンフレットを配布していたイベントが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止・規模縮小となり、配布部数が減少している。	人権啓発パンフレットに音声コード（Uni-Voice）貼付け	令和４年 １１月～	317	272
38	市民局	人権啓発課西地域交流センター	西地域交流センター管理運営（教養・文化講座）	情報保障	—	新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。	ふくしま地区文化祭舞台発表における手話通訳者の配置	１１月	0	14
39	市民局	人権啓発課西地域交流センター	管理運営	環境の整備	玄関ホールに常置している車いす１台の整備。 思いやり駐車場の駐車区画及びマークをより一層の周知。（白線の明瞭可等）	特になし。	玄関ホールに常置している車いす１台の整備。	通年	0	0
40	市民局	人権啓発課東地域交流センター	東地域交流センター管理運営（教養・文化講座）	情報保障	あいあいプラザまつりにおいて手話通訳者の配置に予算計上していたが、新型コロナウイルス感染症防止対策の為、中止した。	新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。	「あいあいプラザまつり」開閉会式及びステージ発表における手話通訳者の配置	１１月	0	14
41	市民局	人権啓発課東地域交流センター	管理運営	環境の整備	玄関ホールに常置している車いす２台のメンテナンス。	特になし。	玄関ホールに常置している車いす２台の整備。	通年	0	0

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和３年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和４年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和３年度決算見込額 （単位：千円）	令和４年度予算額 （単位：千円）
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。			
42	市民局	男女共同参画課	ＤＶ防止・被害者支援対策	情報保障	被害者支援携帯用カードに音声コード（Uni-Voice）を貼付	特になし	被害者支援携帯用カードに音声コード（Uni-Voice）を貼付	通年	126	129
43	健康福祉局	障害福祉課	障害者と広島交響楽団とのジョイントコンサート	情報保障	令和３年度のコンサートについては新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止した。 代替案として、広島交響楽団が演奏する音源に合わせて、歌唱や手話歌やダンス等を披露する様子を、参加者自身が撮影した動画や広島交響楽団の演奏動画等を、一画面に表示するよう編集し自宅にいながら楽しめる動画を広島市公式YouTubeチャンネルで公開した。	広響とのジョイントを通して、障害者の社会参加を図るコンサートであるが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により令和２年度に引き続き令和３年度も中止。令和４年度以降の開催について検討の必要がある。	手話通訳及び要約筆記を要する関係者に対して、委託先である広島ふれあい委員会の委員のために、手話通訳及び要約筆記を配置する。	2月（コンサートの場合）	5,090	4,811
44	健康福祉局	障害福祉課	手話相談員設置事業（地域生活支援事業）	情報保障	聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者（以下「聴覚障害者等」という。）は、その障害ゆえに健常者との対話を手話で行うが、生活上の困りごとや福祉制度等の相談を受けるには、手話技術をマスターし、聴覚障害者等の福祉に理解を有するものを各区に配置する必要がある。 そのため、各区福祉課に手話相談員を各１名（中区は２名）配置し、聴覚障害者等の更生援護の相談に応じるとともに、必要な指導を行う。	—	引き続き、聴覚障害者等の情報保障のため、左記事業を継続して実施する。	通年	25105	23408
45	健康福祉局	障害福祉課	手話通訳者派遣事業（地域生活支援事業）	情報保障	聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため意思疎通を図ることに支障がある障害者（以下「聴覚障害者等」という。）は、その障害ゆえに話すことも聞くことも非常に困難であるため、意志伝達の手段を確保する必要がある。しかしながら、日常生活において区役所等の公的機関や医療機関へ赴くとき、また、社会参加促進の観点から外出等するときに、適当な通訳者が得られない場合、ボランティアに頼らざるを得ない状況である。 そこで、聴覚障害者等が外出等する場合に手話通訳者の派遣を行う。	派遣先等での新型コロナウイルス感染症対策が必要。手話言語においては、表情、口角も重要であるため、令和２年度に引き続き、派遣通訳者に透明マスク及びフェイスシールドの配付を行った。	引き続き、聴覚障害者等の情報保障のため、左記事業を継続して実施する。	通年	7332	8353
46	健康福祉局	障害福祉課	要約筆記奉仕員派遣事業（地域生活支援事業）	情報保障	聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため意思疎通を図ることに支障がある障害者（以下「聴覚障害者等」という。）は、その障害ゆえに話すことも聞くことも非常に困難であるため、意志伝達の手段を確保する必要がある。しかしながら、日常生活において区役所等の公的機関や医療機関へ赴くとき、また、社会参加促進の観点から外出等するときに、適当な通訳者が得られない場合、ボランティアに頼らざるを得ない状況である。 そこで、聴覚障害者等が外出等する場合に要約筆者・奉仕員の派遣を行う。	派遣先等での新型コロナウイルス感染症対策が必要。聴覚障害者等が口角の読み取りをするため、令和2年度には、派遣筆者に透明マスク及びフェイスシールドの配付を行った。	引き続き、聴覚障害者等の情報保障のため、左記事業を継続して実施する。	通年	678	1972
47	健康福祉局	障害福祉課	聴覚障害者用災害避難情報ファクス送信事業	情報保障	災害時において、避難情報を音声で伝達することが困難な聴覚障害者で、あらかじめ登録した人に対し、避難に関する緊急情報をファクスで提供するサービス。 平成27年2月から、広島市防災情報メールの配信に併せて、自動で聴覚障害者（あらかじめ登録した人）へ配信メールと同様の内容をFAX送信する機能を追加している。	—	引き続き、聴覚障害者等の情報保障、災害対策のため、左記事業を継続して実施する。	通年	0	42
48	健康福祉局	障害福祉課	相談窓口の設置	その他	広島市手をつなぐ育成会に委託し、障害者等からの障害を理由とする差別などに関する相談窓口の「障害者１１０番」を運営。また、障害福祉課及び各区役所等の行政窓口を設置。	障害を理由とする差別の防止や解決を図るため、「障害者１１０番」の拡充を図る。	・障害者等からの障害を理由とする差別などに関する相談窓口業務のほかパンフレット・ポスター等による相談窓口の周知や障害者１１０番と障害者基幹相談支援センター等の障害者相談窓口との連携強化（説明会・研修会等の実施）を行い「障害者１１０番」を拡充する。	相談については常時研修会等については適宜	2506	2261
49	健康福祉局	障害福祉課	事業者及び市職員を対象としたユニバーサルマナー研修会	意識啓発・理解促進	新型コロナウイルスの影響により中止。	本年度は、市内事業者向けに、疑似体験研修会等を検討しているが、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。	障害を理由として不当な差別的取扱いを行わないように、日々の生活の様々な場面で、障害者や高齢者等多様な方々と接する市内事業者に対して必要な対応力を身に着けるため、ユニバーサルマナー研修会を実施する。	年１回	0	0
50	健康福祉局	障害福祉課	市職員を対象とした障害者差別解消法研修会	環境の整備	令和３年１１月～１２月に各区等で全９回実施。	—	職員が障害を理由とする不当な差別的取扱いを行わず、障害者への必要的配慮が行えるよう、本市職員に対して、法の趣旨等について、周知を図るために実施する。	９回 本庁２回 中区を除く各区１回	0	0
51	健康福祉局	障害福祉課	市職員を対象とした職員向け疑似体験研修会	環境の整備	新型コロナウイルスの影響により中止。	職員向け疑似体験研修会を実施する予定であるが、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。	職員一人一人が障害者差別解消法の趣旨を理解し、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、実際に疑似体験をしながら、どのような不便や危険があるかなどの注意すべき点等を学ぶ。	年１回	0	0

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和３年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和４年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和３年度決算見込額 （単位：千円）	令和４年度予算額 （単位：千円）
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。			
52	健康福祉局	障害福祉課	市職員を対象としたe-ラーニング研修	環境の整備	令和３年１０月～１２月の間に実施。	—	会計年度任用職員を含め全ての職員が障害者差別解消法及び職員対応要領について学習する。また、令和２年１０月１日に施行された広島市障害者差別解消推進条例について、条例の趣旨等に関する正しい知識、理解を促進するため実施する。	年１回	0	0
53	健康福祉局	障害福祉課	障害者差別解消支援地域協議会	その他	障害者差別解消法及び条例の施行に伴う障害者差別解消支援地域協議会の運営	—	障害者差別解消法及び条例の施行に伴う障害者差別解消支援地域協議会の運営にあたり、重度障害のある委員が出席した際の介助費用。	協議会開催に合わせて実施	242	1408
54	健康福祉局	障害福祉課	みんなのお店ひろしま宣言事業	意識啓発・理解促進	令和３年１１月から事業開始。障害者が安心してサービスを利用できるよう、積極的に環境整備等に取り組むことを宣言する事業者を募集・公表し、事業者や市民への障害者差別解消に向けた機運醸成を図る。	事業者への周知方法について検討し、宣言店を増やす必要がある。	引き続き、障害者差別解消に向けた取り組みとして、左記事業を継続して実施する。	通年	878	596
55	健康福祉局	身体障害者更生相談所	手話相談員設置事業	情報保障	手話相談員を１名配置し、手話通訳等を実施した。	新型コロナウイルス感染症対策でマスク装着の必要があるが、口の動きを見せるために、フェイスシールドのみで通訳を実施しており、感染症による影響が懸念される。	来所者に対する、手話相談員による手話通訳及び相談業務の実施。	通年	3,213	2,815
56	健康福祉局	身体障害者更生相談所	身体障害者更生相談所管理運営（タブレットの導入）	情報保障	タブレット端末（１台）の音声言語化アプリ等を使用して、コミュニケーションを図った。	文字変換が上手くいかないことがある。	タブレット端末による音声言語化アプリ（UDトーク）を使用したコミュニケーションの実施。	通年	103	101
57	健康福祉局	介護保険課	介護保険広報事業	情報保障	点字版及びユニボイス入版のパンフレットを作成した。「介護の日」普及啓発のための講演会を開催し、要約筆記を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響により講演会中止となった。	各区1回以上の講演会を予定しているが、感染症拡大防止の観点から延期または中止が懸念される。	介護保険事業について最新情報の提供を行うため、点字版及びユニボイス入版のパンフレットを作成する。また、「介護の日」普及啓発のための講演会開催にあたり、要約筆記を行う。	令和4年11月	534	561
58	健康福祉局	精神保健福祉課	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業	意識啓発・理解促進	精神障害に対する正しい知識、理解を促進するとともに、必要な支援体制を整備するため、地域で相談支援を行う相談員を対象に、研修会を１１月２０日（土）に開催したところ、２０名の相談支援者が参加された。	講演会開催に際し、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じる必要がある。	精神障害に対する正しい知識、理解を促進するため、支援者への講演・研修会等を実施する。	１１月	31	45
59	健康福祉局	精神保健福祉課	自殺(自死)対策強化事業(心といのちを守るシンポジウム)	意識啓発・理解促進	例年９月に実施しているが、県の早期集中対策期間に被っていたため、令和３年度は１１月１３日（土）に実施。参加者数は６９人だった。	シンポジウム開催に関し、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じる必要がある。	自殺予防週間(9月１０日～１６日)に合わせて、うつ病等の精神疾患や自殺(自死)対策、命の大切さについての啓発を目的とするシンポジウムを開催する。	９月	715	861
60	健康福祉局	障害自立支援課	障害者情報バリアフリー事業	情報保障	在宅障害者向け講習会 16講座 ボランティア養成講座 3講座 施設利用者向け講習会 17講座 を実施している。	特になし。	障害者支援施設にとって情報機器は日常生活の中で健常者以上に有効な情報手段であり、障害者が情報通信の利便を楽しく享受できる環境づくりを進める必要があるためICT講習会を実施する。実施の際には手話通訳者、要約筆記者を配置している。	通年	8111	9875
61	健康福祉局	障害自立支援課	「指定障害福祉サービス事業者・施設等一覧表」の点字版及びＣＤ、テープ版作成・配布	情報保障	障害者支援施設に委託し、「指定障害福祉サービス事業者・施設等一覧表」の点字版及びＣＤ、テープ版の作成・配布をしている。	特になし。	障害者支援施設に委託し、「指定障害福祉サービス事業者・施設等一覧表」の点字版及びＣＤ、テープ版の作成・配布。	年１回	990	1,000
62	健康福祉局	広島市立リハビリテーション病院事務室	新型コロナウイルス感染症対策	環境の整備	新型コロナウイルス感染症対策として購入した非接触検温装置を車椅子でも使用できるように正面玄関入口の低位置に設置した。	特になし	—	令和2年11月	0	0
63	健康福祉局	広島市立リハビリテーション病院自立訓練科	職員研修への講師派遣	環境の整備	企画総務局人事部研修センターからの依頼に基づき、新規採用職員研修(後期)において、市職員として必要な福祉に関する基本的な知識や技能などを会得するため「視覚障害者の理解」に関する科目の講師派遣を行った。	新型コロナウイルス感染症の発生状況等により、実施の可否等が懸念される。	企画総務局人事部研修センターからの依頼に基づき、新規採用職員研修(後期)において、市職員として必要な福祉に関する基本的な知識や技能などを会得するため「視覚障害者の理解」に関する科目の講師派遣を行う。	年１回	0	0
64	健康福祉局	広島市立リハビリテーション病院自立訓練科	市政出前講座「視覚障害について知ろう！」の実施	意識啓発・理解促進	企画総務局広報課からの依頼に基づき、市政出前講座「視覚障害について知ろう！」を実施した。令和３年度は３回実施し、総勢２７名が参加した。	新型コロナウイルス感染症の発生状況等により、実施の可否等が懸念される。	企画総務局広報課からの依頼に基づき、市政出前講座「視覚障害について知ろう!」、「病気やけがで障害がある人の社会復帰について」を実施する。	通年	0	0
65	健康福祉局	広島市立リハビリテーション病院	新規採用職員を対象とした人権問題研修の実施	環境の整備	例年、病院機構が実施する研修に新規採用職員を参加させ、障害者差別解消法などについて理解を深めている。	特になし	令和4年4月に実施した。	年１回	0	0
66	健康福祉局	広島市立広島市民病院	筆談・手話通訳	情報保障	医療支援センターに筆談・手話通訳職員を配置し、開院日の午前8時30分から午後3時15分までの時間帯で予約制による筆談・手話通訳サービスを実施している。	新型コロナウイルス感染症対策でマスク装着の必要がある。	患者さんに対する手話通訳及び相談業務の実施。	通年	0	0

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和３年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和４年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和３年度決算見込額 （単位：千円）	令和４年度予算額 （単位：千円）
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。			
67	健康福祉局	広島市立広島市民病院	駐車料金の減免	その他	受診者（入院患者を除く）及び見舞いに来た者等のうち身体障害者手帳１級・２級、療養手帳マルＡ・Ａ、精神障害者保健福祉手帳１級の交付を受けている者及び公安委員会の発行する駐車禁止除外指定車標識の掲示のある車両を運転している者を対象に以下の減免措置を実施。 外来患者 「無料」 見舞い者 「60分無料」	特に無し	減免措置を継続。	通年	0	0
68	健康福祉局	安佐市民病院整備室	安佐市民病院移転建替え事業	環境の整備	「広島県福祉のまちづくり条例」で定める規則に基づき駐車場、通路、出入口、廊下、階段、昇降機、便所等を整備した。	なし	なし	-	建替え建設費 20,490,000(千円) の一部	0
69	健康福祉局	健康福祉企画課	Uni-Voice掲載版の福祉のことがわかる本の作成	情報保障	高齢者やその介護者の方々に対して、各種福祉制度等をわかりやすく紹介すること等を目的とした「福祉のことがわかる本」について、視覚障害者の方が自分自身で冊子の内容を確認できるよう、Uni-Voiceに掲載した冊子を作成した。	—	令和３年度に引き続き、令和４年度においても、Uni-Voiceに掲載した冊子を作成する。	年１回	477	500
70	健康福祉局	危機管理課 健康福祉企画課	避難行動要支援者避難支援対策の実施 （災害に備えた避難支援に関する意向調査の実施）	情報保障	令和３年度意向調査対象者：１４，６５０人 うち音声コード対象者：５人 うち点字版対象者：２０人	—	災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者に対し、災害の発生に備え、避難支援等の実施に必要な限度で、避難支援等関係者へ、本人の情報を提供することについての同意確認（以下「意向調査」という。）を行っており、この意向調査においては、調査書類に振り仮名を付けるとともに、希望者に対しては点字文書の同封や音声コードの貼付サービスを行う。	年１回	167	977
71	環境局	温暖化対策課	脱・温暖化！市民総ぐるみ推進キャンペーン	情報保障	令和３年度実績なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、オンライン形式での開催等を検討する可能性あり。	市民、事業者、行政等が一体となって地球温暖化対策に取り組むことを目的とした環境イベントの開催に当たり、手話通訳者及び要約筆記者を配置する。	R5.1 （予定）	0	42
72	環境局	環境・施設課	南工場の建替え	情報保障	令和元年度及び令和３年度に開催した環境影響評価に関する住民説明会において、手話通訳を配置した。	なし	本事業に関して住民説明会を開催するに当たっては、手話通訳を配置するなど適切に対応する。ただし、現時点では今後の開催予定なし。	不定期	27	0
73	都市整備局	公園整備課	公園緑地等一般整備 （いのちと生活を守る安心の確保）	環境の整備	高齢者、身体障害者も含めて、全ての市民が利用しやすい公園とするため、「広島市公共施設福祉環境整備基準」に基づき、トイレの新築・改築を行った。	なし	高齢者、身体障害者も含めて、全ての市民が利用しやすい公園とするため、「広島市公共施設福祉環境整備基準」に基づき、トイレの新築・改築及び水飲み改良を行う。	令和4年度	61,166	12,000
74	都市整備局	公園整備課	公園緑地等一般整備 （安心・安全緊急支援事業補助）	環境の整備	実績なし	なし	高齢者、身体障害者も含めて、全ての市民が利用しやすい公園とするため、「広島市公共施設福祉環境整備基準」に基づき、トイレの改築を行う。	令和4年度	なし	14,500
75	都市整備局	公園整備課	公園施設の更新（補助）	環境の整備	実績なし	なし	高齢者、身体障害者も含めて、全ての市民が利用しやすい公園とするため、「広島市公共施設福祉環境整備基準」に基づき、トイレの改築を行う。	令和4年度	なし	58,842
76	都市整備局	公園整備課	平和記念公園施設整備（視覚障害者誘導用ブロック整備）	環境の整備	視覚障害者が園内を安全かつ円滑に移動できるようにするため、「広島市公共施設福祉環境整備基準」に基づき、視覚障害者誘導用ブロックの新規増設等を行った。	なし	視覚障害者が園内を安全かつ円滑に移動できるようにするため、「広島市公共施設福祉環境整備基準」に基づき、視覚障害者誘導用ブロックの新規増設等を行う。	令和3年度	24,550	なし
77	都市整備局	（公財）みどり生きもの協会	協会職員を対象とした新規採用職員研修及び新任係長研修	環境の整備	令和３年１１月２４日（水）に新規採用職員研修を令和３年１１月１９日（金）に新任係長研修を開催。それぞれの研修において障害者差別解消法について説明した。	—	予定している新規採用職員研修及び新任係長研修において障害者差別解消法について説明し、職員への法の理解促進を図る。	年各１回	—	—
78	道路交通局	道路課	福祉環境整備事業	環境の整備	これまで主に「バリアフリー法に基づく重点整備地区」や「バリアフリー整備促進地区」の歩道等について、視覚障害者誘導用ブロック設置やエレベーター設置などを行った。	令和元年７月に追加指定された特定道路において、現地の状況等から歩道整備が困難な路線が多数あるため、整備率が頭打ちになることが懸念される。	平成７年度から福祉環境の充実を図っており、平成１３年度からはユニバーサルデザインによるまちづくりとして、引き続き歩道等の公共施設の改善・整備を行う。	通年	70,287	126,300
79	道路交通局	都市交通部	新交通西風新都線の整備	情報保障	—	—	都市計画決定に係る説明会において、要約筆談者に同席していただいたうえで開催する。	年７回	—	219

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和３年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和４年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和３年度決算見込額 （単位：千円）	令和４年度予算額 （単位：千円）
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。			
80	道路交通局	都市交通部	新交通西風新都線の整備	情報保障	—	—	環境影響評価準備書説明会において、要約筆談者に同席していただいたうえで開催する。	年７回	—	219
81	中区	中区地域起こし推進課	中区青少年健全育成大会 （なかちゃん音楽の輪共催イベント）	情報保障	令和３年度 新型コロナウイルスの影響により中止	—	地域・社会・家庭において取り組むべき問題に対する具体的な活動について、次代を担う青少年の生の声を聴いて区民が考える場を設け、青少年の声を生かした地域活動の展開や青少年の健全な育成を図る。まちの元気の源である青少年の生き活きとした意見発表や活動発表を通じて、まちに活力をもたらし、にぎわいのあるまちづくりを進めていく。 （会場に手話通訳・要約筆記者を配置）	12月3日（土）	0 （手話通訳・要約筆記手数料）	48 （手話通訳・要約筆記手数料）
82	中区	中区地域起こし推進課	「減らそう犯罪」中区民大会・地域芸能発表会	情報保障	令和３年度 新型コロナウイルスの影響により中止	—	「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の一環として、区民の防犯意識の高揚と地域の連帯感の創出を図り、また、区民による自主的なまちづくりへの関心を高め、もって「いき生き中区」の実現に資する。 （会場に手話通訳・要約筆記者を配置）	2月18日（土）	0 （手話通訳・要約筆記手数料）	48 （手話通訳・要約筆記手数料）
83	東区	地域起こし推進課	「東区コミュニティ交流協議会」東区民大会	情報保障	令和３年１２月４日（土）に「東区コミュニティ交流協議会」東区民大会（講演及び地域団体の活動発表）を開催し、会場内に手話通訳者及び要約筆記者を配置した。	新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される。	趣旨：地域コミュニティの活性化や持続可能な地域社会を実現するために区民大会を開催し、地域連帯感の高揚を図る。 内容：講演及び地域団体等の活動発表 取組：手話通訳者及び要約筆記者の配置 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、感染防止策を講じるなどの工夫をしながら、今年度は１２月３日（土）に開催予定。	年１回	30	46
84	東区	地域起こし推進課	城下町広島の歴史講座	情報保障	平成30年度は6/16、9/8、10/13、11/24、12/15の５回開講し、全講に要約筆記者及び手話通訳者を配置した。平成31年度5/25、6/29、7/20、9/21、10/19の５回開講し、全講に要約筆記者を配置した。 （令和２年度及び３年度：新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止）	新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される。	二葉の里歴史の散歩道のみならず、郷土広島の歴史（被爆とその後の復興を含む）・文化財の継承・風土・景観など、素晴らしい広島の魅力を再発見してもらう場として歴史講座を開講する。 取組：要約筆記者の配置 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、感染防止策を講じるなどの工夫をしながら、６月募集・７月、９月～１２月（月１回・全５回）開催の予定。	年５回（７月、９月～１２月）	0	158
85	東区	地域起こし推進課	「青少年によい影響をあたえる運動」東区推進大会	情報保障	令和元年７月６日（土）に推進大会を開催し、要約筆記者及び手話通訳者を配置している。 （令和２年度及び令和３年度：新型コロナウイルス感染予防のため中止）	新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される。	「青少年によい環境をあたえる運動」の一環として、青少年健全育成を目的とした地域活動の取り組みの意欲を一層高めるとともに、広く地域住民の意識高揚を図るため、推進大会を開催する。 取組：手話通訳者及び要約筆記者の配置 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、感染防止策を講じるなどの工夫をしながら、今年度は７月２日（土）に開催予定。	年１回（７月）	0	106
86	東区	地域起こし推進課	東区青少年健全育成大会～子ども達の声聴く会～	情報保障	令和元年１０月１９日（土）に育成大会を開催し、要約筆記者及び手話通訳者を配置している。 （令和２年度及び令和３年度：新型コロナウイルス感染予防のため中止）	新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される。	21世紀を担う青少年の健全な育成にあたり、青少年の意見に耳を傾け、地域・家庭の取り組むべき問題について区民が考える場とし、さらには声掛け運動などの地域活動として問題をきっかけとすることを目的とし、育成大会を開催する。 取組：手話通訳者及び要約筆記者の配置 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、感染防止策を講じるなどの工夫をしながら、今年度は１０月１５日（土）に開催予定。	年１回（１０月）	7	194
87	安佐南区	安佐南区地域起こし推進課	「減らそう犯罪」安佐南区民大会	情報保障	令和元年度10月5日に「減らそう犯罪」安佐南区民大会（地域団体の活動事例や講演、ゲストを招いて演奏）を開催。会場内に手話通訳者を配置している。 （令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）	新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。	多くの区民や各種団体の参加を得て、防犯意識の高揚と防犯活動に対する認識の共有化を推進するとともに、犯罪傾向や地域での防犯活動の取組事例を紹介し、今後の地域活動の充実を図る。会場内に手話通訳者を配置する。	年一回	21	21
88	安佐北区	安佐北区地域起こし推進課	「減らそう犯罪」推進事業 安全・安心なまちづくり安佐北区民大会	情報保障	・防犯に関する講演 ・防災に関する講演 ・市消防音楽隊による安全・安心コンサート （要約筆記・手話通訳の設置）	市民に防犯や防災への意識啓発を促進するため、大会を開催する予定であるが、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。	目的：誰もが安心して暮らすには犯罪の起こりにくい、また災害に強い安全なまちづくりが必要であり、そのための方策の一つとして、地域住民の防犯・防災をはじめとする安全意識の高揚と地域の連帯感の創出を目的に、区民大会を開催する。 内容：子どもたちの意見発表、防犯・防災に関する講演、学校団体による演奏発表ほか	毎年12月	37	50

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和３年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和４年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和３年度決算見込額 （単位：千円）	令和４年度予算額 （単位：千円）
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。			
89	安芸区	地域起こし推進課	「減らそう犯罪」推進事業 「減らそう犯罪」安芸区民大会	情報保障	令和元年11月24日（日）に開催。会場内に手話通訳者及び要約筆記者を配置。 令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。	新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。	趣旨：安全・安心なまちづくりに関する防犯意識と地域連帯感の高揚を図り、より良い地域社会をつくるために区民大会を開催する。 内容：防犯に関する公演を行う。 取組：手話通訳者及び要約筆記者の配置。	年1回	0	91
90	消防局	警防課	広島市eメール１１９番	情報保障	令和３年（２０２１年）実績 登録者数１５４名 通報件数１件 出動件数１件	特になし。	言語・聴覚障害者等が、携帯電話やインターネット端末機などの電子メール機能を利用して１１９番通報が行えるようにしている。	通年	123	127
91	消防局	警防課	聴覚障害者等緊急通報用ファクス	情報保障	令和３年（２０２１年）実績 登録者数なし 通報件数２件 出動件数２件	特になし。	言語・聴覚障害者等が、指定された様式に必要事項を記入し、固定電話のファックス機能を利用して１１９番通報が行えるようにしている。	通年	96	96
92	消防局	警防課	N e t １１９緊急通報システム	情報保障	令和３年（２０２１年）実績 登録者数１０４名 通報件数２件 出動件数０件	特になし。	言語・聴覚障害者等が、スマートフォンや携帯電話などからインターネット機能を利用して１１９番通報が行えるようにしている。	通年	3432	3432
93	消防局	救急課	広島市消防局手話・要約筆記奉仕員派遣事業	情報保障	実績なし。	救急課が管理している奉仕員名簿と、主管課である障害福祉課が管理している奉仕員名簿が統一できていないため、名簿の一元化や要綱の改正に向けて、両課で協議を進めている。	消防隊等の災害活動現場において、聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者との円滑な意思の疎通を図るうえで支障がある場合に、手話奉仕員又は要約筆記奉仕員を派遣し、意思伝達の手段を確保するもの。	通年	0	4
94	消防局	施設課	広島市総合防災センター福祉環境整備	環境の整備	—	—	障害者差別解消法の施行に伴い、健康福祉局が平成28年度から令和7年度までの10年間を既設の市公共建築物のバリアフリー化集中実施期間とする計画を策定している。当該計画に基づき、令和4年度に実施設計、令和5年度に改修工事を実施する。	令和4年度 令和5年度	—	2, 200
95	水道局	営業課	視覚障害者への点字郵送サービス	情報保障	請求書及び領収書等の郵送物を点字で送付	特になし	請求書及び領収書等の郵送物を点字で送付	通年	59	52
96	水道局	企画総務課	水道局ホームページへの音声読み上げ機能の導入	情報保障	令和4年2月の水道局ホームページのリニューアルにあわせ、ホームページ上に音声読み上げ機能を導入した。	特になし	—	令和4年2月1日	ホームページシステム開発及び保守・運用等業務委託費に含まれるため、算出不可	ホームページシステム開発及び保守・運用等業務委託費に含まれるため、算出不可
97	議会事務局	総務課	聴覚障害者の傍聴対応（手話通訳者派遣）	情報保障	聴覚障害があり、広島市議会の傍聴に際し手話通訳者が必要とされる方に対して、議会事務局で手話通訳者の配置を行う。	特になし	【令和３年度の手話通訳者の派遣実績】 なし	本会議・委員会等各種会議の開催日	0	156
98	議会事務局	総務課	聴覚障害者の傍聴対応（要約筆記者派遣）	情報保障	聴覚障害があり、広島市議会の傍聴に際し要約筆記者・奉仕員を必要とされる方に対して、議会事務局で要約筆記者・奉仕員の配置を行う。	特になし	【令和３年度の要約筆記者の派遣実績】 なし	本会議・委員会等各種会議の開催日	0	108
99	議会事務局	秘書広報室	広島市議会本会議中継及び議長記者会見中継の手話通訳実施業務	情報保障	平成28年6月定例会以降の全ての本会議において実施。	・時間外や休日に本会議を開会する際の手話通訳士の確保・新型コロナウイルス感染拡大防止対策 （本会議中継作業中は、狭い編集室内に5～6人が詰める体制となるため、①手話通訳士の待機場所を別室とする、②室内の換気を徹底するなどの対策を講じている。）	本会議における議長発言や一般質問などの発言内容を、聴覚障害者向けに手話通訳し、会議映像とともに中継する。 ※議長記者会見中継の手話通訳業務については、当面の実施見込みはないが、実施に備えて予算要求を行っている。	市議会定例会（6月、9月、12月、2月）、及び臨時会に併せて実施	668	526
100	議会事務局	秘書広報室	広報紙「ひろしま市議会だより」の点字広報紙製作及び配付業務	情報保障	【令和３年度実績】合計：528部 内訳：第297号 90部 第298号 88部 第299号 88部 第300号 88部 第301号 88部 第302号 86部	—	視覚障害者向けに、広報紙「ひろしま市議会だより」を点字翻訳したものを製作し、希望者へ配布している。	主に市議会定例会（6月、9月、12月、2月）閉会から約40日後に送付	1320	1200

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和３年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和４年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和３年度決算見込額 （単位：千円）	令和４年度予算額 （単位：千円）
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。			
101	議会事務局	秘書広報室	広報紙「ひろしま市議会だより」の声の広報制作及び配付業務	情報保障	【令和３年度実績】合計：751部 内訳：第297号 128部 第298号 127部 第299号 126部 第300号 124部 第301号 124部 第302号 122部	—	視覚障害者向けに、広報紙「ひろしま市議会だより」を音声で聞けるよう、声の広報（カセットテープ版とＣＤ版（デジター版））を制作し、希望者へ配布している。	主に市議会定例会（6月、9月、12月、2月）閉会から約40日後に送付	1160	1134
102	教育委員会	施設課	福祉環境整備事業	環境の整備	児童・生徒の障害の程度や当該学校施設の状況に応じて、次に掲げるもののうち必要な整備を行う。 （1）階段手摺り （2）スロープ （3）便所改修 ア 身体障害者等対応便所／本館及び常時児童、生徒等が生活する棟に各1箇所設置 イ 小便器及び洗面器の手すり／各便所に1か所設置 令和３年度は実施なし	—	児童・生徒の障害の程度や当該学校施設の状況に応じて、次に掲げるもののうち必要な整備を行う。 （1）階段手摺り （2）スロープ （3）便所改修 ア 身体障害者等対応便所／本館及び常時児童、生徒等が生活する棟に各1箇所設置 イ 小便器及び洗面器の手すり／各便所に1か所設置 令和４年度は、既定予算の範囲内でスロープ設置工事を行う。	随時	0	0
103	教育委員会	施設課	エレベーター整備	環境の整備	学校においては、次のいずれかの場合にエレベーター整備を行う。 ・学校新設時及び校舎の増改築時 ・人的介助及び階段昇降機によつての上下階移動が著しく困難な場合等 令和３年度は実施なし	—	学校においては、次のいずれかの場合にエレベーター整備を行う。 ・学校新設時及び校舎の増改築時 ・人的介助及び階段昇降機によつての上下階移動が著しく困難な場合等 ・常時車椅子を使用する児童・生徒が在籍・入学時 令和４年度は、次の事業を実施する。 ・船越小、五日市小：実施設計	随時	0	11,000
104	教育委員会	施設課	エレベーター改修	環境の整備	佐伯区内の小・中学校に設置された老朽化の著しい荷物用エレベーターについて、人荷用・バリアフリー対応のエレベーターに改修し、機能向上を図る。 令和３年度は、次の事業を実施した。 五日市東小(繰越)：改修工事	—	佐伯区内の小・中学校に設置された老朽化の著しい荷物用エレベーターについて、人荷用・バリアフリー対応のエレベーターに改修し、機能向上を図る。 令和４年度は、次の事業を実施する。 ・五日市観音西小：実施設計 ・三和中、五日市中：改修工事	平成28～	34,128	49,000(繰越込)
105	教育委員会	育成課	青少年健全育成市民大会	情報保障	令和３年１１月２０日（土）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、開催中止とした。	令和４年度の開催についても、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。	毎年11月の「子ども・若者育成支援強調月間」及び「広島市青少年健全育成強調月間」中の事業の一環として、広島市青少年健全育成功労者表彰や講演会などを開催する。 ・手話通訳、要約筆記に係る謝礼金	令和４年 １１月	0	70
106	教育委員会	育成課	広島市成人祭	情報保障	新型コロナウイルス感染症の影響により令和３年１月１１日（月・祝）から延期していた令和３年広島市成人祭については、令和３年５月２日（日）にオンライン方式で開催した。 ・オンライン配信画面に手話通訳を配置した（従事者：手話通訳２名）。 ・オンライン配信映像のアーカイブを字幕入りにした。 令和４年１月１０日（月・祝）に予定されていた令和４年広島市成人祭は新型コロナウイルス感染症の影響により令和４年５月８日（日）に延期となった。	行事の開催については新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。 また、ハイリスク者の参加方法等についても検討が必要である。	民法の改正により成年年齢が18歳に引き下げられた後も、20歳を対象として式典を行う。新しい行事の名称については検討中。 ・手話通訳、要約筆記に係る謝礼金及び交通費 ・式典に参加する身体障害者等のタクシー送迎 ・式典に参加する身体障害者等の駐車場の確保及び通行証の発行	１月 第２月曜日 （成人の日）	64	68
107	教育委員会	育成課	非行防止啓発活動	情報保障	令和４年３月１２日に開催。広島修道大学の西野教授による講演を実施。 新型コロナウイルス感染予防の観点から、オンライン形式で実施した。	令和４年度の開催についても新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。 また、ハイリスク者の参加方法等についても検討が必要である。	一般市民を対象に様々な角度から少年の非行問題について考えるセミナーを実施する。 ・手話通訳、要約筆記に係る謝礼金及び交通費	令和5年2～3月	19	33
108	教育委員会	育成課	ちびっこ広場整備	環境の整備	高齢者、身体障害者も含めて、全ての市民が利用しやすいちびっこ広場とするため、「広島市公共施設福祉環境整備基準」に基づき、出入口段差解消修繕整備を行った。	なし	高齢者、身体障害者も含めて、全ての市民が利用しやすいちびっこ広場とするため、「広島市公共施設福祉環境整備基準」に基づき、出入口段差解消修繕整備を行う。	通年	0	1,166
109	教育委員会	指導第一課	小・中・高校生による文化の祭典	情報保障	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、「小学校の部（ことばの部）」（令和３年１２月１１日（土））及び「中学校の部（音楽・言語活動部門）」（令和３年１１月２０日（土））に、入場者を保護者、学校関係者に制限し、一般入場を行わず、規模を縮小したため、手話通訳者の派遣を中止とした。	今年度についても、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念され、開催方法が不透明である。	小・中・高等学校における文化芸術活動の成果を発表する機会を設け、児童生徒の文化芸術活動への意欲と自信を高めるとともに、豊かな感性と情操をはぐくむために実施する「小・中・高校生による文化の祭典」において、「小学校の部（ことばの部）」及び「中学校の部（音楽・言語活動部門）」に手話通訳を派遣する。	11月(中学校の部) 12月(小学校の部)	0	36

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和３年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和４年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和３年度決算見込額 （単位：千円）	令和４年度予算額 （単位：千円）
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。			
110	教育委員会	指導第一課	こどもピースサミット	情報保障	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、令和３年６月１２日（土）に、入場者を保護者、学校関係者に制限し、一般入場を行わず、歌声発表を中止するなど規模を縮小したため、手話通訳者の派遣を中止とした。	今年度も派遣を中止し、来年度についても、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念され、開催方法が不透明である。	児童及び参加者が平和への思いを共有するとともに、平和の大切さについての意識の高揚を図るために実施する「平和の歌声・意見発表会」に手話通訳を派遣する。	6月	0	45
111	教育委員会	特別支援教育課	障害のある子どもへの医療的ケア実施事業	環境の整備	・特別支援学校（R3年度：対象44名）には看護師12名（通年の会計年度任用職員）を、幼稚園・小・中学校（R3年度：対象13名）には看護師23名（日任用の会計年度任用職員）を配置し、医療的ケアを実施した。 ・泊を伴う行事や看護師に急きょ欠員が出たときに対応するため、訪問看護ステーションへ業務委託を行い、看護師の人員確保に努めた。	人工呼吸器の管理等、高度な医療的ケアを必要とする児童生徒が増えてきていることから、看護師の専門性の向上及び人員の確保が課題である。	特別支援学校及び小・中学校等に在籍する医療的ケア児に対して、必要に応じて看護師を配置し、安心して学校生活を送ることができるように支援することを目的とする。 特別支援学校（R4年度：対象42名）には看護師（通年の会計年度任用職員）13名を配置し、幼稚園・小・中学校（R4年度：対象16名）には看護師（日任用の会計年度任用職員）を配置し（状況に応じて１人の子どもに複数の看護師配置することもある）、医療的ケアを実施するとともに、看護師対象の研修会や事例検討会を実施するなど、看護師としての専門性向上のための取組を併せて行う。専門性の向上及び切れ目のない医療的ケアの実施のため、令和４年度より新たに特別支援教育課に看護師（通年任用）を配置し、各学校や看護師への指導助言等を行える体制を整備した。 泊を伴う行事や看護師に急きょ欠員が出たときの人員確保のため、訪問看護ステーションへの業務委託を行う。	年間を通して実施する。	6,715 （人件費を除く） 《会計年度任用職員（特別支援学校）》 38,596 《会計年度任用職員（小・中学校等）》 15,361 （人件費）	9,152
112	教育委員会	特別支援教育課	特別支援教育におけるタブレット端末活用事業	情報保障	・令和３年度までに、特別支援学校及び特別支援学級又は通級指導教室を設置する小・中学校に計３５７台のタブレット端末を整備し、児童生徒の実態に応じた取組を進めている。 ・令和３年度は、教員を対象とした研修を実施し、児童生徒の特性に合わせた活用のあり方について学ぶ場を設けた。タブレット端末サポート員による活用相談会を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。	本事業で集積した個に応じたタブレット端末の活用例が、「GIGAスクール構想」に基づく児童生徒１人１台端末では、セキュリティ上の問題等により、実施できないものがある。	特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に児童生徒の障害種別や障害の程度に応じて計画的にタブレット端末を整備し、児童生徒が障害や苦手さを補ったり、自分の考えを表現するための機器として用いたりするなどにより、児童生徒が意欲的・主体的に活動できるようにすることを通して、障害のある児童生徒が自らの力を伸ばし、自立や社会参加を目指す。 今後は、各学校における個に応じたタブレット端末の利活用をさらに推進しながら、活用する教員の研修やサポート体制を充実を図る。	年間を通して活用する。	3,987 （タブレット端末及び活用できる環境整備等）	2,291
113	教育委員会	特別支援教育課	学習サポーター・特別支援教育アシスタント事業	環境の整備	【学習サポーター】 小・中学校等に在籍する児童生徒等で、学級担任や教科担任による指導等だけでは学力向上等を目的とした対応が困難な場合、学習サポーターを配置し、担任の指導のもと学校生活への不適應の対応とともに、学習支援の充実を図る。 【特別支援教育アシスタント】 小・中学校等の通常の学級に在籍する児童生徒等で、肢体不自由のため学校生活の支援・介助を必要とする場合、特別支援教育アシスタントを配置し、担任の指導のもと学校生活の支援・介助を行う。 【配置数】 令和３年度は、学習サポーター、特別支援教育アシスタント合わせて639人	—	【学習サポーター】 小・中学校等に在籍する児童生徒等で、学級担任や教科担任による指導等だけでは学力向上等を目的とした対応が困難な場合、学習サポーターを配置し、担任の指導のもと学校生活への不適應の対応とともに、学習支援の充実を図る。 【特別支援教育アシスタント】 小・中学校等の通常の学級に在籍する児童生徒等で、肢体不自由のため学校生活の支援・介助を必要とする場合、特別支援教育アシスタントを配置し、担任の指導のもと学校生活の支援・介助を行う。 【配置数】 令和４年度は、学習サポーター、特別支援教育アシスタント合わせて645人を配置する予定。	年間を通して活動する。	409,904 （学習サポーター、特別支援教育アシスタントの謝礼金、特別支援教育アシスタントの校外学習旅費等）	490,113
114	教育委員会	特別支援教育課	特別支援教育体制充実事業	環境の整備	・専門家チームによる巡回相談指導については、県の新型コロナ感染拡大防止集中対策や国の緊急事態宣言、まん延防止対策等が長期間続いたことから、令和３年度は125回の実施であった。（令和２年度226回、平成31年度252回、平成30年度251回） ・特別支援教育コーディネーターの養成については、研修会を新任者は５回、経験者は３回（インクルーシブ教育システム実践指定校の専任コーディネーターの研修を７回）実施した。 ・特別支援教育推進校を１園、インクルーシブ教育システム構築実践指定校を20校指定し、研究を推進した。 ・管理職対象研修会を7月と9月に実施した。9月のまん延防止対策期間中には、オンデマンドによる実施とした。	—	障害のある児童生徒について、障害による学習上又は生活上の困難を克服するための適切な指導や必要な支援が可能になるよう、指導や校内支援体制の充実を図る。 専門家チームによる巡回相談指導、特別支援教育コーディネーターの養成及び研究校の指定等のほか、管理職を対象とした研修や市民等への理解・啓発の推進に係る講演会等を実施。	年間を通して実施する。 《管理職対象講演会7・9月》 《市民・保護者対象講演会：2月》	2,264 （市民等への理解・啓発：こども未来局で計上）	4,033 （市民等への理解・啓発：こども未来局で計上）
115	教育委員会	特別支援教育課	車椅子用電動階段昇降機の維持管理及び更新	環境の整備	・２年に１回のペースで保守点検を行い、修繕を行いながら安全性の確保に努めている。 ・25台のうち、平成28年度に１台、平成29年度に１台、平成30年度に２台、平成31年度に５台、令和２年度に４台、令和３年度に４台、更新を行った。	平成15～16年度に配備した8台は、耐用年数を大幅に超え、繰り返し修繕を行ってきたが、安全性に課題が生じている。	車椅子を使用する肢体不自由の児童生徒が階段を昇降するために、エレベーターが設置されていない学校に車椅子用電動階段昇降機を配備しており、その維持管理及び更新を行い、肢体不自由の児童生徒の安全・安心な学校生活を支援する。 左記の課題を解消するため、令和5年度までに4台ずつ現有する階段昇降機を順次更新する予定である。	年間を通して活用する。	維持管理 975 更新（５台） 5,216	維持管理 1,057 更新（４台） 5,126

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和３年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和４年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和３年度決算見込額 （単位：千円）	令和４年度予算額 （単位：千円）
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。			
116	教育委員会	特別支援教育課	要約筆記奉仕員派遣事業	情報保障	・平成29年度は高等学校から１校、平成30年度は中学校から１校ほど派遣要請があった。平成31年度から令和３年度には、派遣申請がなかった。	平成31年度には、学校から手話通訳についての要望があった。要約筆記だけでなく手話通訳にも使えるように事業自体の変更を考える必要がある。	聴覚に障害のある児童生徒が在籍する中学校及び高等学校を対象に、講演会や講話などの学校行事において、要約筆記奉仕員を派遣し、聴覚に障害のある生徒の聞こえにくさからくる学習上の様々なハンディキャップの軽減・解消を図る。今後は、要約筆記だけでなく手話通訳にも使えるよう、要綱を改正する予定である。	中学校及び高等学校から派遣要請があった場合	0	30 （報償費）
117	市選挙管理委員会	選挙課	各選挙	情報保障	視覚障害者のうち、点字サービスの利用希望者に「選挙のお知らせ」（投票所入場券）を、「点字による選挙のお知らせ」と共に封筒に入れ、「ヒロシマシ」の点字シールを貼付して送付した。	—	今後も選挙執行時に同様の取り組みを行う。	選挙時	28	28
118	人事委員会	任用課	任用関係事務	その他	障害者を対象とした職員採用試験の申込の際には、申込書において、全ての受験者を対象として受験にあたり配慮を希望する事項を確認しており、受験にあたり何らかの配慮を希望する者には、可能な限り対応した上で試験を実施している。	特になし	「令和３年度（昨年度）までの取組に係る事業実績」に同じ	９月～１０月頃	※算出不能	※算出不能

取組の分類	集計
情報保障	75
環境の整備	33
意識啓発・理解促進	5
その他	5
合計	118

点字の作成や手話通訳者の派遣など

バリアフリーや市等の職員研修、体制整備など

対外的研修など

複合的なものや上記分類に該当しないもの